

昭和56年3月1日発行

発行所／福岡県岡垣町役場

編集／町長公室

印刷／冷牟田印刷

趣味と実益の釣りマニア

梅崎裕子さん

(44歳・吉木)

「主婦業に専念するよりも、広い海を見てのんびりと釣り糸をたらし、おにぎりをばくつくのは最高」と、自他ともに認める釣り好きの梅崎さん。

釣りは「父が好きだった」ので、子どもの時からやっていました。結婚した時も、釣り竿は嫁入道具の中へ。

梅崎さんがとても残念に思っているのは、釣り場のゴミ。「一人一人が気をつけねばすむ」となのにな」と、釣り人のマナーに言。

岡垣へ越してきたのは、三年前。さつそくバイクを買って波津の海へ。天気のいい日曜日は、主人と一緒に娘と出かけます。波津の海は種類が豊富で、よく釣るのが「あじ子」。子どものカルシウム源」と、フライやひものにして料理に工夫をこらします。「主人もおいしいと食べてくれますよ」。趣味と実益をかねた釣りというわけです。



人口のうごき

(56/1月末)

▲人口 25,597人

(前年比 +1,246)

男 12,257人

女 13,339人

▲世帯数 7,337世帯

(前年比 +348)

おもな記事

- ◎わが町のコミュニティ施設 2P
- ◎ダブルパンチ酪農業 3P
- ◎教室生募集 4P
- ◎あなたの地域の民生委員 6P
- ◎町長選挙 7P
- ◎身体障害者のつどい行事予定 8P

「家庭の日」

日曜日

心ふれあう

家庭の日

岡中 小早川 春美

ダブルパンチ酪農業

上がらぬ乳価、経費は上昇

生産調整で頭打ち

「牛乳は栄養価が高い」。これはほとんどの人が知っています。カルシウム、ビタミンB₂、良質のタンパク質など、豊富な栄養素を含む価値ある食品といえます。

岡垣町には、現在八戸の酪農家があり、全部で百九十六頭の乳牛がいます。乳牛一頭で一日約三十kgの乳を出し、一年間に十九ヶ月さく乳するので、町内だけで年間約百七十万kgの牛乳を生産します。

本町で酪農が當まれだしたのは戦後からで、乳牛一、二頭の保有農家まで入れると、一時は八十戸に及ぶ酪農家がありました。

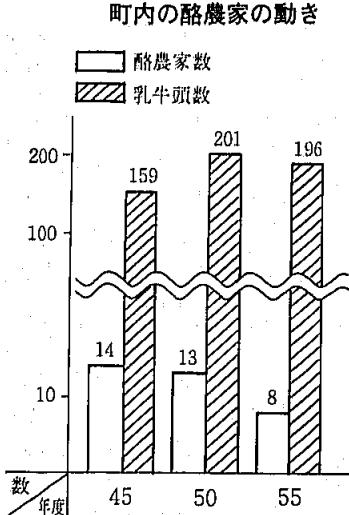
しかし、牛の世話がたいへんな理由で、その農家数も急激に減少しています。

現在多くの酪農には、問題をかかえています。

最近、牛の乳ばなれ」と言われるようになり、一般の人が牛乳を飲まなくなり需要が伸びるやんんでいることです。

国内の需要の四〇%が輸入製品で、国内の販売領域も押さえられていました。

このため、昭和五十四年度から酪農の生産調整がとられています。



農家の昭和五



乳牛一頭に一反半必要という牧草地



減り現在に至っていますが、乳牛頭数については、經營規模を拡大

して、将来をみたところ、頭数についても、牛乳一kg当たり二kgで約一kg、平均百十円位で引きとられます。

飼農家にとってさらに苦しいのは、将来をみたところ、頭数についても、牛乳一kg当たり二kgで約一kg、平均百十円位で引きとられます。

郵便法令等の改正により、ハガキや手紙の交換に加えて

岡垣町においても酪農の育成には力を感じています。過去十年間に、飼料の整備事業など、七千四百万円にのぼる育成事業を行い、飼料などの自給自足化を進めています。

郵便切手や収入印紙についても交換できるようになります。次のような場合にご利用下さい。

望まれる行政の対策



花田通さん (原区)
酪農の窮状を訴える

便利な、ハガキ

郵便法令等の改正により、ハガキや手紙の交換に加えて

岡垣町においても酪農の育成には力を感じています。

過去十年間に、飼料の整備事業など、七千四百万円にのぼる育成事業を行い、飼料などの自給自足化を進めています。

郵便切手や収入印紙についても交換できるようになります。次のような場合にご利用下さい。

○五百円切手など高額の郵便切手で不用となつたものを、一般に使用される小額の六十円や三十円切手に交換、あるいは郵便切手で十円未満のものをハガキなどと交換したい場合。

○使い残した署中見舞用ハガキと通常ハガキや郵便切手と交換したい場合。

○高額の収入印紙を小額の収入印紙と交換したい場合。

(収入印紙については、それ以外のものとは交換できません。)

お年玉つき郵便ハガキとの交換等については、一定の制限がありますので注意して下さい。なお、交換に際しては手数料がります。

詳しくは、郵便局窓口でお尋ね下さい。

町のわたり

「こつち、なげてー」

にぎやかな成田山



豆まきで「やく、払い



鬼さんと記念写真

二月一日、日曜日、成田山不動寺で「鬼は外、福は内」のかけ声とともに豆まきが行われました。

ひと足早い豆まきも、朝からの雨模様で心配されましたが、豆まきの始まる十二時頃には晴れ間がありました。

今年は「酉」年。三十人くらいの「やく年」の男女がおはらいを受け、境内の三ヵ所に設けられた舞台から豆をまきました。

バックの口を開いて受け止める人。ボウシで取る人。ふろしきを広げてかまえている人。豆がまかれるたびに人波が境内狭しと動き回り、にぎやかな歓声が上がりました。

子どもたちも、おとなとの間をり抜けて拾っています。お互いに拾った豆を見せあつて、どちら

が多いかを競い合っていました。

赤鬼、青鬼も出演して子どもたちの人気を集めました。

この日、三回に分けてまかれた豆は三百kg。約六百人の人たちが豆まきを楽しみました。

申込みは三月二十七日まで、開級式 四月十七日(金)

申込み書を教育委員会が中央公民館へ提出して下さい。用紙は教育委員会、中央公民館、東部公民館、老人クラブ寿会にあります。

受講料は無料ですが、材料費、交通費、中食代等は自己負担となります。また、受講生の決定は新規希望者を優先し、予定人員になりました。

詳しくは、役場教育委員会(☎ 21211)又は中央公民館(☎ 2162)までお問い合わせ下さい。

申込み方法

申込み書を添えて、指導者又は中央・東部・西部公民館へ申し込んで下さい。申込み用

紙は、各申込み先にあります。

詳しく述べは、東部公民館(☎ 21211)までお問い合わせ下さい。

申込み先

申込み先

申込み先

申込み先

申込み先

申込み先

申込み先

申込み先

若潮学級

岡垣町教育委員会では、昭和五

校生まで

十六年度の若潮学級を次の要領

で募集します。

この学級は、高齢

者の生きがいを創造するために開

設するものです。

対象者 六十歳以上の男女

開設期間 四月~十二月まで

開設場所 中央、東部公民館

募集人員 約百名

学習内容 教養・選択コース

申込み書を教育委員会が中央公民館へ提出して下さい。用紙は教育委員会、中央公民館、東部公民館、老人クラブ寿会にあります。

局 2552)・門司守夫(☎ 2

728)まで連絡して下さい。

申込み用紙は、中央公民館と

東部公民館にあります。

申込みは、花田日出登(☎ 2

728)まで連絡して下さい。

申込み用紙は、中央公民館と

東部公民館にあります。

申込みは、花田日出登(☎ 2

728)まで連絡して下さい。

申込み用紙は、中央公民館と

東部公民館にあります。

<p

(7) 昭和56年3月1日

町長選挙

投票日は四月五日

投票のしかた

きません。なお、印鑑と入場券も必要です。忘れないようにして下さい。

つける
二人以上の候補者に○印をつけると無効です。必ず一人だけに○印をつける。

任期満了にともなう、岡垣町長

垣町に有する人。

選挙の日程が次のとおり決まりました。

投票日 四月五日(日)

告示日 三月二十九日(日)

立候補届出期間 三月二十九日

(日)・三十日(月)

投票日に出張や病気、お産、新婚旅行などで投票所に行けない人は、前もって投票(不在者投票)ができます。

不在者投票

この記号式投票とは、投票用紙の町長候補者の中から投票しようとする者一人に対し、氏名の上欄に○印を記入し投票することです。

不在者投票のできる期間は三月二十九日から四月四日、時間は午前八時三十分から午後五時までです。

記号式投票

上の注意

一、投票用紙の交付を受けたら投票記載所で、投票しようとする候補者一人の氏名の上欄に○印を

○をつける欄	候補者氏名	間違印

都市計画道路 事業の総覧

事業の名称 海老津三吉線
(県道)

事業の施行 福岡県

事業地 岡垣町大字海老津字世々
中山他及び大字野間字世々
町他

総覧期間 昭和五十六年一月十三日～昭和六十年三月三十一日

総覧場所 役場都市整備課

タバコはビタミンCを消費

これは皮ふが熱をもち、乾燥するからです。発熱時はビタミンBの消耗が大きく、それがフケをふやしているのだといわれています。ヘビースモーカーも、ニコチンによってビタミンCが多量に消費されます。

一方的に「マンガはダメ」とか、おとなの方度を押しつけるのは感心できません。おとの目にはくだらない番組と映つても、子供に

不足を感じたときは、てつ

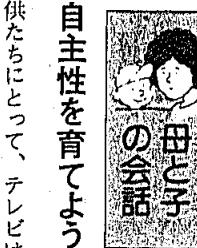
とり早くビタミン剤をとることになるわけですが、ビタミン剤だけですべて解決するこ

とはできません。
テレビの普及が家庭だらんの場を奪つたなどといわれて久しいですが、これもお母さんの工夫一つで、逆にテレビをだらんの素材にとりあげることもできるのです。

まず、土台となる体の健康や食事が大切なことです。

選挙権は、住民基本台帳に登録されている人で次に該当する人にあります。

昭和五十五年十二月二十七日までに転入届(住民基本台帳に登録)を出し、引き続き住所を岡



田じ子の会話

自主性を育てよう

子供たちにとって、テレビは生活の一部といつてもよいほどで、ほうつておくと何時間でも見ています。ちょっとやそとでは離られないような魅力が、テレビはあるようです。

そこで、毎日の生活の中で何時間、どんな番組を見させ、子供の成長にプラスさせていくかがお母

が、これはいちがいにいえない問題です。

年齢や家庭環境、生活のパートなどによつて違つきますが、仮に時間を決めるときは、子供との納得づくりで、しかもお母さんとの約束」という形にするのが一つのやり方です。また、「時間制」ではなく、見る番組をいくつか決めておくのもいいでしょう。

豊かにする内容のものもあります。

